

船越小学校 6 年生が景観学習 地域の魅力再発見したよ

11月13日と20日、船越小学校（千葉浩之校長）で景観学習が行われました。これは、身近な景観を通じて地域の魅力や課題を発見する体験型学習として、県内各地で行われているものです。学習したのは6年生19人。講師の岩手大学三宅諭准教授の指導の下、船越地区の景観について学びを深めました。各班は船越公園や浦の浜、田の浜へカメラ片手に出発。気になった景色を撮影し、その景色を発表しました。見方によって感じ方が変わる景観を学んだ児童らは、地域の良さを再発見していました。



身体を動かすこと苦にせず 船越の佐藤ツノさん100歳に

11月8日、船越の佐藤ツノさんが100歳を迎え、佐藤町長が長寿祝金を贈呈しました。大正6年、豊間根地区で10人兄弟の長女として生まれた佐藤さん。結婚で船越へ嫁ぎました。地震が多かったため「安心できる高台の土地へ」との思いから、現在の地に移住し、家族で「民宿四十八坂荘」を始めました。身体を動かすのを苦にせず、家族と一緒に小屋を建てたり庭仕事を行ったりと、身体をよく動かしていたことが長生きにつながっていると娘さんは話します。佐藤さん、本当におめでとうございます。

第4回やまだ図書館まつり 多くの本と出会えた2日間

11月4日と5日、ふれあいセンターはびねで「第4回やまだ図書館まつり」が行われました。2日間で来場したのは894人。来場者は、不要になった本を町民の皆さんから集めて必要な人へプレゼントする「本のリサイクル」や、クイズに答えて好きな本をもらうイベントを通し、多くの本との出会いを楽しんでいました。そのほか、将棋交流会や水引きを作る手芸体験、絵本の読み聞かせなども好評。子どもから大人まで楽しめる、イベント盛りだくさんの図書館まつりとなりました。



紙芝居通して楽しく学ぶ 船越保育園で人権教室

10月25日、宮古人権擁護委員協議会（和村淑子会長）主催の人権教室が船越保育園（山崎智子園長）で行われました。これは、子どもに人権について考えてもらい、優しく成長してもらうことを目的に行われたもので、沿岸地区の保育施設での実施は初めてとなります。教室では、人権擁護委員の皆さんが子どもたちに紙芝居を披露。内容は一つの物を他の人と分け合うことの重要性を説くもので、子どもたちは真剣に聞き入り、「はんぶんこ」することの大切さを学んでいました。



町のわだい

今月の題字 小野寺 花凜さん（大沢小2年）



平成29年度山田町民芸術祭 奏でられた芸術が秋を彩る

10月9日から11月12日の約1カ月間にわたって町民芸術祭が開催されました。舞台部門では、総勢50人が民謡と舞踊を披露。音楽の集いでは大阪交響楽団管5重奏、町内4団体90人が秋の音色を奏でました。アートフェスティバルには、のべ1500人が来場し、絵画など400点以上が展示。人気マンガ家そのだつくしさんによるワークショップも行われ、参加した子どもたちはオリジナルのゆるキャラを描いていました。ことしの芸術祭のテーマは「奏^{かなでる}」。テーマにふさわしく、音楽や舞踊、各種展示作品など、多様な芸術が奏でられた芸術祭となりました。



サーカスのコンサートで会場満員 秋の夜に響いたハーモニー

11月18日、町中央公民館でコーラグループ「サーカス」のコンサートが行われました。Mr.サマータイムやアメリカン・フィーリングでおなじみのサーカス。その歌声を聞こうと多くの町民が来場し、会場は満員となりました。オープニングを彩ったのは、サーカスと親交の深いデュオユニット「グックル」。力強い歌声が会場を盛り上げます。その後、満を持してサーカスが登場。おなじみの名曲やジャズを歌い上げたほか、息の合った軽快なライブトークも披露。秋の夜に響き渡った歌声に、来場者は満足気に会場を後にしていました。

